

SDGsとの関連 | 国連が定めた持続可能な開発目標 (SDGs) に関連するものには、目標の数字を示しています。 3 4 5 7 9 11 15 16

## 1 教育基本法・学校教育法との関連

■ 教育基本法に示された教育目標を達成するための配慮がなされているか。

教育基本法との対応	(▷は、教科書における具体例) ● 書写の学習を通して、幅広い知識と教養を身につけ、自らの文字を正しく整えて書く力とともに、国語や他教科、日常生活で生かそうとする態度を養えるよう配慮している。 ▷ <b>全学年・全単元</b>
	● 自らの文字を整える課題解決の過程で、「学びに向かう力」や「思考力・判断力・表現力」及び、自主・自律の精神を養えるよう編集している。 ▷ <b>全学年・全単元</b>
	● 書写の学習を通して、日本語で文字を書くことや言語に関わる文化に触れ、我が国の伝統と文化を尊重し継承しようとする態度を養えるよう配慮している。 ▷「文字とっしょに」1年p.42、p.43、2年p.58 / 「生活に広げよう」1年p.36、3年p.83 など

## 2 教育課程および学習指導要領への対応

■ 教育課程編成の方針を踏まえているか。

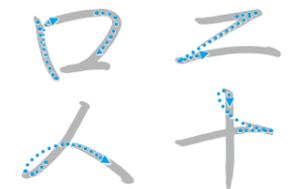
1. 学習指導要領に示された内容に対応しているか。	● 学習指導要領の書写の指導事項を効果的に学習できるよう、単元数・学習事項を精選し、生徒の発達段階に応じて主体的にねらいを達成できるよう、系統的に単元を配列している。 ● 言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する「知識・技能」の習得、正しく整えて書くための「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現するよう編集している。
2. 学習指導要領の方向性に対応するため、どのような工夫、配慮がなされているか。	● 文字を整えて書くための汎用的なポイントを「書写のかぎ」として位置づけ、各単元に1事項ずつ焦点化して配置し、学習の基礎・基本、書写の原理・原則を負担なく確実に習得できるよう工夫している。 ● 基本単元では、「1. 見つけよう」「2. 確かめよう」「3. 生かそう」の3つのステップで構成されており、 <b>学習過程を統一</b> することで、生徒が主体的に学びに取り組めるよう工夫している。 
① 基礎・基本の確かな習得	● 成長期の生徒が負担なく運筆できる正しい姿勢を身につけられるように、書くときの姿勢や筆記具の持ち方を丁寧に解説している。 ▷1年p.8、3年p.98-99 ● 「行書のまとめ」や「書写テストに挑戦！」を設け、学習したことを振り返り、身につけた知識・技能の定着と学力の向上を図ることができるよう工夫している。 ▷「行書のまとめ」1年p.32、2年p.56 / 「書写テストに挑戦！」1年p.44、2年p.70、3年p.88
② 「主体的・対話的で深い学び」の実現	● 巻頭の「文字を『書く』って、なんだろう」では、生徒にとって身近な「書く」場面を想起させ、手で文字を書くことの価値や意義について考えさせる。生徒が生活体験をもとに書くことを振り返り、自分の文字をよりよくしようとする主体的な態度を育めるよう工夫している。 ▷表紙裏・1年p.1 ● 基本単元には、目標と振り返りを設定し、生徒自身が学習のねらいを意識し、何を身につけたのかを振り返られるようにしている。(見通しと振り返り) ▷1年p.28、2年p.48、3年p.80 など

③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実のための工夫	● 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に役立つように、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させるための工夫をさまざまに取り入れている。 ● 教科書紙面上の二次元コードからアクセスするデジタルコンテンツ(以下、QRコンテンツ)を多数用意している。授業や家庭学習などの場面で活用することができ、生徒が自ら判断してコンテンツを利用することで、 <b>個別最適な学び</b> を実現する。 例：用具の置き方、筆のかたづけ方、基本の点画の書き方、教材文字の運筆動画 など ▷1年p.8、p.10、p.15、2年p.49 
3. 書写の学習を生活に役立てるため、どのように工夫されているか。	● 「生活に広げよう」では、学んだことを生活の中で活用するために、具体的な場面を想定して話し合う活動を設定している。学習を通して、思考力・判断力・表現力を高め、 <b>深い学び</b> を実現できるよう配慮している。(3学年で6単元) ▷「生活に広げよう」1年p.22、p.36、p.39、2年p.60、p.65、3年p.83 ● 「生活に広げよう」では、書写の学習で身につけた知識・技能を生活の場でのように活用できるかを考える。生徒に身近な題材の例を豊富に示して、意識づけられるようにしている。(3学年で6単元) ▷1年：お礼状、年賀状、職場訪問の手紙やポスター (1年p.22、p.36、p.39) 2年：本のポップ、防災訓練の話し合いメモやパンフレット (2年p.60、p.65) 3年：卒業に向けた作品 (3年p.83) ● 巻末資料「書写活用ブック」では、さまざまな書式の具体例を挙げて特徴や書き方を解説し、日常生活の中で生徒が目的に応じて活用できるよう工夫している。また、硬筆字典として、五十音表、常用漢字表、人名用漢字表の楷書と行書の文字を掲載し、生徒が自分の名前を書くことに主体的に取り組めるよう配慮している。 ▷さまざまな書式 活p.1-14、活p.40 / 硬筆字典(常用漢字表・人名用漢字表) 活p.15-35 ● 日常生活と関わりの深い横書きの書き方を、各学年で取り上げている。 ▷1年p.39-41、2年p.60、2年p.62、3年p.80、活p.8-9、p.11、p.12-13
4. 文字文化についての理解を深めるため、どのように工夫されているか。	● 「文字とっしょに」では、手書き文字と活字、筆・墨・硯・和紙などの用具・用材、いろは歌など文字文化に関するコラムを設けたり、「書いて味わおう」として国語教科書掲載作品の一節をなぞり書きするページを設けたりして、文字文化への関心を高め、継承・発展させる態度を養うよう工夫している。 ▷「文字とっしょに」コラム 1年p.16、p.34、p.42、2年p.58、p.68、3年p.101 「書いて味わおう」1年p.43、2年p.69、3年p.87 ● <b>書き初め</b> の単元を各学年に設けて、生活に根づく伝統的な文字文化について理解を深められるよう工夫している。 ▷「書き初めをしよう」1年p.38・89、2年p.64・96、3年p.82・97

## 3 教科書の構成上の配慮と工夫

1 指導計画作成のために、どのような配慮をしているか。

1. 教材の分量、配分は適切か。	● 配当時数内に、各学年で求められる資質・能力を着実に身につけられるよう、 <b>単元・教材を精選</b> し、適切な単元数、分量で、硬筆と毛筆の学習ができるようにしている。 ● 配当時数の少ない3年においては、短時間で指導できるよう単元の内容をより精選し、 <b>実態に合わせた指導</b> ができるよう配慮している。
① 分量・配分(教材の系統性)	● 原則として <b>1単元1事項</b> で構成し、学習のポイントを「書写のかぎ」として明確化することで、限られた時間内で効果的・効率的に力をつけられるよう配慮している。 また、「書写のかぎ」を3学年を通して <b>段階的・系統的</b> に配列し、 <b>螺旋的・反復的</b> に学習を積み重ねられるよう工夫している。
② 毛筆と硬筆の配分	● 基本単元は、 <b>硬筆</b> で課題を発見し、それを解決する「書写のかぎ」を見つける→ <b>毛筆</b> で書いて確認する→ <b>硬筆</b> でほかの文字に生かすという展開で、硬筆と毛筆の密接な関連を図っている。 ▷1年p.28、2年p.48 など ● また、毛筆教材と硬筆教材との配分を考慮し、適切な順で単元を配列したり、学年内に、 <b>適宜硬筆のまとめ</b> のページを置くことで、硬筆・毛筆を効果的に関連させた指導ができるようになっている。 ▷1年p.32、2年p.56

2. 教材の選定や教材化にあたり、どのように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材文字は、硬筆文字・毛筆文字ともに<b>学びやすさを考慮した</b>簡明な書き方で、書風は健康的で明るく、濃度や筆圧にも配慮して執筆している。教材として指導事項を捉えやすい字形で、かつ、内容価値のある語彙を選んでいる。 ▷1年p.15、2年p.64、3年p.97 など</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行書の字形において、基礎的・基本的な学習であることを踏まえて、文字の中の共通する部分は書き方の統一を図るなどの配慮をしている。 ▷1年p.32、2年p.56</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毛筆の学習においては、穂先の位置が分かりやすいよう淡墨の文字写真を用いたり、筆脈や、既習の文字の動きを生かす部分を図示したりするなどして、内容理解の助けとなるよう工夫している。 ▷1年p.10-11、p.24-25、p.30 など</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行書の指導において、行書で多く用いられる<b>4つの動きに着目させ、形だけでなく、動きを手がかりに習得できるように工夫している。</b> ▷1年p.26-27、p.30</li> </ul> 
3. 現代の学校教育環境への対応が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GIGAスクール構想による一人一台端末の活用、デジタルコンテンツを活用した指導を支える周辺教材を多数用意している。</li> <li>● 教科書教材と連動した<b>QRコンテンツ</b>を用意し、対面授業やオンライン授業だけでなく、家庭における自学自習にも活用できるようになっている。</li> </ul>
4. 授業支援と教員の負担軽減への取り組みが図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何を学ぶのか(「書写のかぎ」)、どのように学ぶのか(「1.見つけよう」「2.確かめよう」「3.生かそう」の3ステップの学習過程)を明確にし、<b>指導計画が立てやすく、無理なく指導</b>できるよう工夫している。 ▷1年p.14、p.28、2年p.48 など</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● QRコンテンツに毛筆教材文字の<b>運筆動画</b>を用意しており、教師が一斉指導の際に演示したり、生徒がタブレットで個別学習したりするなど、<b>授業の効率化に役立つよう工夫している。</b>また、<b>実技指導の経験の少ない教師の補助</b>としても効果的である。 例：用具の置き方、筆のかたづけ方、基本の点画の書き方、教材文字の運筆動画(書き初め含む) ▷1年p. 8、p.10、p.15、p.38、2年p.49 など</li> </ul>
5. 国語科国語や他教科の学習、学校生活との関連が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒に身近な題材として、国語科や理科のノート例、職場訪問のポスターやレポート、防災パンフレットなど、他教科や特別活動で扱われる言語活動や題材を取り上げている。 他教科と関連している単元・教材には、(教科関連マーク🔗)をつけて意識づけを図っている。 ▷1年p.34、1年p.39 など</li> </ul>
① 国語科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お礼状、レポート、本のポップなど<b>国語科の言語活動と関連する題材</b>を積極的に取り上げたり、「書いて味わおう」で<b>国語教科書に掲載される作品の一節</b>を書くページを設けたりしている。適宜関連づけて指導したり、合科的に扱ったりできるよう配慮している。 ▷1年p.22、p.39、2年p.60、🔗p.2-11、p.40-41 など / 「書いて味わおう」1年p.43 など</li> <li>● また、二次元コードがある教材では、関連する国語教科書(「新編 新しい国語」)の内容を参照することができる。 ▷1年p.22、2年p.60 など</li> </ul>
② 道徳との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道徳教育との関連として、<b>豊かな情操と道徳心を養う</b>ような語句や文章を教材文字として選定している。 ▷1年p.15「大志」、p.89「夢の実現」、2年p.51「豊かな自然」、p.64「平和の祈り」、p.96「感謝する心」…… 🔗15 🔗16</li> <li>● 対話的な話し合いを学習活動に取り入れ、<b>互いを尊重し理解を深める態度</b>を養うよう工夫している。 ▷「生活に広げよう」1年p.22、p.36、p.39、2年p.60、p.65、3年p.83</li> </ul>
6. カリキュラム・マネジメントへの取り組みが図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国語科や他教科・特別活動で扱われる言語活動や題材を積極的に取り上げており、<b>合科的・関連的な指導</b>を行うことができる。なお、他教科の学習と関連している単元・教材には、(教科関連マーク🔗)をつけて意識づけを図っている。 ▷「職場訪問をしよう」1年p.39 / 「地域の活動に参加しよう」2年p.65 / 「自分のノートを見直す」3年p.80 / 「ノートの取り方・レポートの書き方」🔗p.40 など</li> </ul>

7. 小学校の学習内容との関連が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校6年生から中学校1年生への移行がスムーズに行えるよう、1年生の冒頭に、小学書写の学習内容を振り返り確認するページを設け、中学校での学習の基盤作りができる内容になっている。 ▷「はじめに」1年p.6-13</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「書写のかぎ」を柱とした学習過程は、東京書籍小学書写でも採用しており、<b>小中9年間の系統性</b>を立て、円滑な接続を図っている。また、中学校教科書と小学校教科書とで同じ図版を用い、既習事項を反復しながら新しい学習内容を無理なく積み重ねていけるよう配慮している。 ▷「これまで学んできたこと」1年p.6-7、「伝統的な用具・用材」2年p.58-59、キャラクター「コウソ」</li> </ul>
8. 高校の学習内容との関連が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年には、高校への橋渡しになるよう、書道の芸術性につながる文字の表現効果や高校書道の内容を紹介するコラムを設け、興味・関心を高める工夫をしている。 ▷「書の古典」3年p.101</li> </ul>

## 2 今日的な課題に対してどのように取り組んでいるか。

1. 現代的な教育課題に対し、どのような取り組みをしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 言語活動の題材や教材文字は、<b>我が国の伝統や文化への理解を深めるものや、SDGs(持続可能な開発目標)</b>につながるさまざまな社会の課題を意識して設定している。教科横断的に扱い、関連づけて指導することができるよう工夫している。(□の数字は、SDGsの目標との対応を表す。)</li> </ul>
	<p>【 伝統文化 】「文字といっしょに」コラム、「書き初めをしよう」 など</p> <p>【 防災・安全 】「地域の活動に参加しよう——防災訓練」2年p.65… 🔗11</p> <p>【 環境 】「豊かな自然」2年p.51、「資源の未来新聞」🔗p.10… 🔗15 🔗7</p> <p>【 国際理解 】手紙(外国人観光客への環境作り)1年p.23、「書の古典」3年p.101</p> <p>【 情報活用 】「インターネット安心・安全ブック」🔗p.11… 🔗9</p> <p>【 人権・福祉 】ユニバーサルデザイン書体 1年p.17、「山口市広まるバリアフリー」🔗p.8… 🔗3</p> <p>【 キャリア教育 】「職場訪問をしよう」1年p.39</p>

## 3 全ての生徒が使いやすい紙面を実現するために、どのような配慮を行っているか。

1. 表現や体裁などにおいて、特別支援教育やユニバーサルデザインの配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別支援教育の観点から、全ページにわたり、内容とデザインについて専門家による検証・校閲を行っている。また、紙面上の色の数や文字量を抑制することで、生徒の集中を妨げないよう配慮している。</li> <li>● 色覚の多様性に配慮し、<b>カラーユニバーサルデザイン</b>の観点から、配色およびデザインについて検証を行っている。</li> <li>● <b>右利きでも左利きでも教材文字が見やすいように、原則として教材文字を上に、書き込み欄を下に配置</b>するなど工夫している。 ▷1年p.14、p.32、2年p.56 など</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報を整理して、だいたいなことがひと目で分かる紙面になるよう工夫している。紙面内の学習要素の位置を原則として固定化することで、学習過程を統一し、スムーズに学習に取り組めるよう工夫している。</li> <li>● 小学校で学習していない漢字を使用する場合は、単元ごとの初出箇所に全て読み仮名を付けている。</li> <li>● 文章は的確・簡潔で、学年段階に応じて分かりやすい表現をしている。文意を捉えやすいように、原則として文節で改行している。また、表記や用語は統一した基準を設けている。</li> <li>● キャラクターの吹き出しや本文漢字の読み仮名等には、小さい文字でも読みやすい<b>ユニバーサルデザインフォント</b>を使用している。… 🔗4</li> </ul> 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 弱視の生徒のために、教科書と同じ内容の拡大教科書の発行を予定している。</li> <li>● 教師用指導書に、全ての漢字に読み仮名を振り、語のまとまりが分かるように空きを入れた<b>総ルビ・分かち書き教科書紙面</b>のPDFを用意している。また、学習者用デジタル教科書においても、読み仮名を振ったり、分かち書きで表示したりする機能を搭載している。</li> </ul>

2. 人権上の配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人物の写真やイラスト、教科書に掲載する作品の氏名において、男女の比率や役割に偏りがないう配慮している。また、固定的なイメージで性の区別をしないよう、男女の服装に配慮している。… 🔗5</li> </ul>
--------------------	---

3. 印刷・造本は生徒の使用に適し、環境に配慮したものにしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本文書体は、手書き文字の字形に近づけた、特別な明朝体を使用している。</li> <li>● B5変型判の紙面は、1ページの<b>縦横比が半紙と同比率</b>であり、128%拡大で半紙と同サイズになるよう工夫されている。半紙と文字のバランス、余白などを意識して書くことができる。</li> <li>● 印刷は鮮明で正確である。硬筆文字や毛筆文字は、濃度や色味を調整して、より本物に近く、見やすいものになっている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 用紙は、鉛筆で書きやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを使用している。</li> <li>● 製本は中綴じで開きやすく、書き込みがしやすいようになっている。中綴じの針金の先が、指や衣服などに引っかかってけがをすることがないように<b>安全面に配慮</b>している。</li> <li>● 表紙は耐久性を高める加工をしている。</li> <li>● 環境に配慮し、再生紙や植物油インキを使用している。</li> <li>● 印刷業会団体が定めた環境配慮基準を満たす「<b>グリーンプリンティング認定工場</b>」で印刷している。</li> </ul> 